

●令和2年度卒業時アンケート調査分析結果  
分析対象

所属学科専攻と学年のクロス表

所属学科専攻	学年	学年		合計	
		2	4		
所属学科専攻 人間生活学科 度数		0	36	36	
	[参考：令和元年度調査] 度数	0	21	21	
	[参考：平成30年度調査] 度数	0	42	42	
	所属学科専攻 栄養学科 度数		0	84	84
		[参考：令和元年度調査] 度数	0	78	78
		[参考：平成30年度調査] 度数	0	78	78
所属学科専攻 人間発達学専攻 度数		0	69	69	
	[参考：令和元年度調査] 度数	0	88	88	
	[参考：平成30年度調査] 度数	0	121	121	
所属学科専攻 人間基礎学専攻 度数		0	49	49	
	[参考：令和元年度調査] 度数	0	43	43	
	[参考：平成30年度調査] 度数	0	56	56	
九州女子大学 合計 度数		0	238	238	
	[参考：令和元年度調査] 度数	0	230	230	
	[参考：平成30年度調査] 度数	0	297	297	
所属学科専攻 子ども健康学科 度数		101	0	101	
	[参考：令和元年度調査] 度数	109	0	109	
	[参考：平成30年度調査] 度数	87	0	87	
	所属学科専攻 専攻科 度数		14	0	14
		[参考：令和元年度調査] 度数	22	0	22
	[参考：平成30年度調査] 度数	8	0	8	
九州女子短期大学 合計 度数		115	0	115	
	[参考：令和元年度調査] 度数	131	0	131	
	[参考：平成30年度調査] 度数	95	0	95	

【分析対象の概要】

このアンケート調査は令和2年度の卒業年次学生（令和3年3月卒業予定）を対象として実施されたものであり、回答した学生の内訳は次の通りである。

- 九州女子大学
  - 家政学部
    - 人間生活学科 36名
    - 栄養学科 84名
  - 人間科学部
    - 人間発達学科
      - 人間発達学専攻 69名
      - 人間基礎学専攻 49名
  - 合計 238名
- 九州女子短期大学
  - 子ども健康学科 101名
  - 専攻科 14名
  - 合計 115名

Q84 学生生活の充実度（学習面）

所属学科専攻と学生生活の充実度 学習面のクロス表

所属学科専攻	学習面	学生生活の充実度 学習面				合計	平均値	
		1. かなり充実している	2. まあまあといったところ	3. あまり充実していない	4. かなり不満がある			
所属学科専攻 人間生活学科 構成比		27.8%	52.8%	19.4%	0.0%	100.0%	1.92	
	[参考：令和元年度調査] 構成比	23.8%	61.9%	14.3%	0.0%	100.0%	1.90	
	[参考：平成30年度調査] 構成比	19.0%	69.0%	11.9%	0.0%	100.0%	1.93	
	所属学科専攻 栄養学科 構成比		11.9%	64.3%	21.4%	2.4%	100.0%	2.14
		[参考：令和元年度調査] 構成比	10.4%	70.1%	14.9%	4.5%	100.0%	2.13
		[参考：平成30年度調査] 構成比	10.7%	72.0%	16.0%	1.3%	100.0%	2.08
所属学科専攻 人間発達学専攻 構成比		15.9%	71.0%	10.1%	2.9%	100.0%	2.00	
	[参考：令和元年度調査] 構成比	20.5%	70.5%	5.7%	3.4%	100.0%	1.92	
	[参考：平成30年度調査] 構成比	38.3%	53.0%	8.7%	0.0%	100.0%	1.70	
所属学科専攻 人間基礎学専攻 構成比		18.4%	67.3%	14.3%	0.0%	100.0%	1.96	
	[参考：令和元年度調査] 構成比	26.2%	61.9%	11.9%	0.0%	100.0%	1.86	
	[参考：平成30年度調査] 構成比	25.9%	68.5%	5.6%	0.0%	100.0%	1.80	
九州女子大学 合計 構成比		16.8%	65.1%	16.4%	1.7%	100.0%	2.03	
	[参考：令和元年度調査] 構成比	18.8%	67.9%	10.6%	2.8%	100.0%	1.97	
	[参考：平成30年度調査] 構成比	25.9%	63.3%	10.5%	0.3%	100.0%	1.85	
所属学科専攻 子ども健康学科 構成比		13.9%	60.4%	18.8%	6.9%	100.0%	2.19	
	[参考：令和元年度調査] 構成比	11.0%	74.3%	13.8%	0.9%	100.0%	2.05	
	[参考：平成30年度調査] 構成比	12.6%	58.6%	25.3%	3.4%	100.0%	2.20	
	所属学科専攻 専攻科 構成比		14.3%	64.3%	14.3%	7.1%	100.0%	2.14
		[参考：令和元年度調査] 構成比	13.6%	72.7%	13.6%	0.0%	100.0%	2.00
	[参考：平成30年度調査] 構成比	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	100.0%	1.75	
九州女子短期大学 合計 構成比		13.9%	60.9%	18.3%	7.0%	100.0%	2.18	
	[参考：令和元年度調査] 構成比	11.5%	74.0%	13.7%	0.8%	100.0%	2.04	
	[参考：平成30年度調査] 構成比	13.7%	60.0%	23.2%	3.2%	100.0%	2.16	

【調査分析結果】

学生生活における学習面の充実度を4点法で質問した。この質問では、平均値が低いほど充実が高く、平均値が高いほど充実度が低いことを示している。調査の結果、最も充実度が高かったのが人間生活学科（1.92）であり、以下、人間基礎学専攻（1.96）、人間発達学専攻（2.00）、栄養学科および専攻科（いずれも2.14）、子ども健康学科（2.19）の順であった。また、4点法による回答を充実度の高いグループと低いグループの2つに区分すると、人間発達学専攻（86.9%）、人間基礎学専攻（85.7%）、人間生活学科（80.6%）、専攻科（78.6%）、栄養学科（76.2）、子ども健康学科（74.3%）の順で充実度の高い回答が多く、すべての学科専攻において、7割以上の卒業生が学生生活の学習面が充実していたと回答したことが示された。また、過年度実施の調査結果と比較すると、平均値や割合の学科専攻順位に変化が見られるとともに、令和元年度の調査結果と比較すると、すべての学科専攻において平均値が上昇しており、充実度が下がっていることが示された。

Q86-1 専攻学科に対する満足度

所属学科専攻 と Q86-1 専攻学科に対する満足度 のクロス表

			Q86-1 専攻学科に対する満足度				合計	平均値
			1. 低い	2. やや低い	3. やや高い	4. 高い		
所属学科専攻	人間生活学科	構成比	0.0%	11.1%	58.3%	30.6%	100.0%	3.19
		<small>〔参考：令和元年度調査〕</small> 構成比	0.0%	4.8%	85.7%	9.5%	100.0%	3.05
		<small>〔参考：平成30年度調査〕</small> 構成比	2.4%	21.4%	57.1%	19.0%	100.0%	2.93
	栄養学科	構成比	7.1%	21.4%	59.5%	11.9%	100.0%	2.76
		<small>〔参考：令和元年度調査〕</small> 構成比	6.1%	16.7%	65.2%	12.1%	100.0%	2.83
		<small>〔参考：平成30年度調査〕</small> 構成比	2.7%	10.7%	74.7%	12.0%	100.0%	2.96
人間発達学専攻	構成比	0.0%	13.0%	62.3%	24.6%	100.0%	3.12	
	<small>〔参考：令和元年度調査〕</small> 構成比	0.0%	6.8%	75.0%	18.2%	100.0%	3.11	
	<small>〔参考：平成30年度調査〕</small> 構成比	0.0%	4.3%	56.5%	39.1%	100.0%	3.35	
人間基礎学専攻	構成比	2.0%	16.3%	49.0%	32.7%	100.0%	3.12	
	<small>〔参考：令和元年度調査〕</small> 構成比	0.0%	14.3%	73.8%	11.9%	100.0%	2.98	
	<small>〔参考：平成30年度調査〕</small> 構成比	1.9%	13.0%	70.4%	14.8%	100.0%	2.98	
九州女子大学 合計	構成比	2.9%	16.4%	58.0%	22.7%	100.0%	3.00	
	<small>〔参考：令和元年度調査〕</small> 構成比	1.8%	11.1%	72.8%	14.3%	100.0%	3.00	
	<small>〔参考：平成30年度調査〕</small> 構成比	1.4%	10.1%	64.0%	24.5%	100.0%	3.12	
所属学科専攻	子ども健康学科	構成比	5.9%	26.7%	49.5%	17.8%	100.0%	2.79
		<small>〔参考：令和元年度調査〕</small> 構成比	6.7%	18.1%	61.9%	13.3%	100.0%	2.82
		<small>〔参考：平成30年度調査〕</small> 構成比	9.3%	20.9%	69.8%	0.0%	100.0%	2.60
	専攻科	構成比	0.0%	28.6%	57.1%	14.3%	100.0%	2.86
		<small>〔参考：令和元年度調査〕</small> 構成比	0.0%	31.8%	59.1%	9.1%	100.0%	2.77
		<small>〔参考：平成30年度調査〕</small> 構成比	12.5%	12.5%	37.5%	37.5%	100.0%	3.00
九州女子短期大学 合計	構成比	5.2%	27.0%	50.4%	17.4%	100.0%	2.80	
	<small>〔参考：令和元年度調査〕</small> 構成比	5.5%	20.5%	61.4%	12.6%	100.0%	2.81	
	<small>〔参考：平成30年度調査〕</small> 構成比	9.6%	20.2%	67.0%	3.2%	100.0%	2.64	

【調査分析結果】

専攻学科に対する満足度を4点法で調査したところ、最も満足度が高かったのが人間生活学科（3.19）で、以下、人間発達学専攻および人間基礎学専攻（いずれも3.12）、専攻科（2.86）、子ども健康学科（2.79）、栄養学科（2.76）と続いている。学科専攻の順位は、平成30年度の調査結果と令和元年度の調査結果の間にはほぼ変化はなかったが、令和2年度の調査結果においては順位に変動があった。また、満足度の高いグループと低いグループの2つに区分してみると、ほぼすべての学科専攻において、平成30年度の調査開始以来、およそ7割以上の卒業生が専攻学科に対して満足していることが示された。中でも、「やや高い」または「高い」の回答した割合の合計が8割を超えたのは、人間生活学科（88.9%）、人間発達学専攻（86.9%）、人間基礎学専攻（81.7%）であった。

Q86-2 大学の雰囲気に対する満足度

所属学科専攻 と Q86-2 大学の雰囲気に対する満足度 のクロス表

			Q86-2 大学の雰囲気に対する満足度				合計	平均値
			1. 低い	2. やや低い	3. やや高い	4. 高い		
所属学科専攻	人間生活学科	構成比	0.0%	13.9%	63.9%	22.2%	100.0%	3.08
		<small>〔参考：令和元年度調査〕</small> 構成比	0.0%	19.0%	71.4%	9.5%	100.0%	2.90
		<small>〔参考：平成30年度調査〕</small> 構成比	2.4%	22.0%	48.8%	26.8%	100.0%	3.00
	栄養学科	構成比	1.2%	19.0%	64.3%	15.5%	100.0%	2.94
		<small>〔参考：令和元年度調査〕</small> 構成比	6.0%	29.9%	55.2%	9.0%	100.0%	2.67
		<small>〔参考：平成30年度調査〕</small> 構成比	1.3%	9.3%	73.3%	16.0%	100.0%	3.04
人間発達学専攻	構成比	7.2%	14.5%	60.9%	17.4%	100.0%	2.88	
	<small>〔参考：令和元年度調査〕</small> 構成比	2.3%	15.9%	69.3%	12.5%	100.0%	2.92	
	<small>〔参考：平成30年度調査〕</small> 構成比	2.6%	17.4%	53.0%	27.0%	100.0%	3.04	
人間基礎学専攻	構成比	2.0%	18.4%	49.0%	30.6%	100.0%	3.08	
	<small>〔参考：令和元年度調査〕</small> 構成比	0.0%	31.0%	57.1%	11.9%	100.0%	2.81	
	<small>〔参考：平成30年度調査〕</small> 構成比	0.0%	20.4%	59.3%	20.4%	100.0%	3.00	
九州女子大学 合計	構成比	2.9%	16.8%	60.1%	20.2%	100.0%	2.97	
	<small>〔参考：令和元年度調査〕</small> 構成比	2.8%	23.4%	62.8%	11.0%	100.0%	2.82	
	<small>〔参考：平成30年度調査〕</small> 構成比	1.8%	16.5%	58.9%	22.8%	100.0%	3.03	
所属学科専攻	子ども健康学科	構成比	1.0%	15.8%	57.4%	25.7%	100.0%	3.08
		<small>〔参考：令和元年度調査〕</small> 構成比	5.7%	11.3%	67.9%	15.1%	100.0%	2.92
		<small>〔参考：平成30年度調査〕</small> 構成比	5.8%	24.4%	61.6%	8.1%	100.0%	2.72
	専攻科	構成比	7.1%	7.1%	71.4%	14.3%	100.0%	2.93
		<small>〔参考：令和元年度調査〕</small> 構成比	0.0%	50.0%	40.9%	9.1%	100.0%	2.59
		<small>〔参考：平成30年度調査〕</small> 構成比	12.5%	25.0%	37.5%	25.0%	100.0%	2.75
九州女子短期大学 合計	構成比	1.7%	14.8%	59.1%	24.3%	100.0%	3.06	
	<small>〔参考：令和元年度調査〕</small> 構成比	4.7%	18.0%	63.3%	14.1%	100.0%	2.87	
	<small>〔参考：平成30年度調査〕</small> 構成比	6.4%	24.5%	59.6%	9.6%	100.0%	2.72	

【調査分析結果】

大学の雰囲気に対する満足度を調査したところ、平均値は人間生活学科と人間基礎学専攻および子ども健康学科（いずれも3.08）、栄養学科（2.94）、専攻科（2.93）、人間発達学専攻（2.88）の順で高かった。令和元年度の調査結果と比較すると、人間発達学専攻を除くすべての学科専攻において、平均値が上がっていた。また、満足度の高いグループと低いグループに2分してみると、いずれの学科専攻においても、おおむね8割以上の卒業生が大学の雰囲気に対して満足していることが分かった。

Q86-3 講義・カリキュラムに対する満足度 (R2年度より「講義に対する満足度」)

所属学科専攻 と Q86-3 講義・カリキュラムに対する満足度 (R2年度より「講義に対する満足度」) のクロス表

			Q86-3 講義・カリキュラムに対する満足度 (R2年度より「講義に対する満足度」)				合計	平均値
			1. 低い	2. やや低い	3. やや高い	4. 高い		
所属学科専攻	人間生活学科	構成比	0.0%	16.7%	69.4%	13.9%	100.0%	2.97
		[参考: 令和元年度調査] 構成比	0.0%	19.0%	76.2%	4.8%	100.0%	2.86
		[参考: 平成30年度調査] 構成比	4.8%	26.2%	57.1%	11.9%	100.0%	2.76
	栄養学科	構成比	6.0%	29.8%	54.8%	9.5%	100.0%	2.68
		[参考: 令和元年度調査] 構成比	14.9%	34.3%	49.3%	1.5%	100.0%	2.37
		[参考: 平成30年度調査] 構成比	5.3%	28.0%	61.3%	5.3%	100.0%	2.67
人間発達学専攻	構成比	0.0%	13.0%	78.3%	8.7%	100.0%	2.96	
	[参考: 令和元年度調査] 構成比	0.0%	21.6%	67.0%	11.4%	100.0%	2.90	
	[参考: 平成30年度調査] 構成比	.9%	20.0%	58.3%	20.9%	100.0%	2.99	
人間基礎学専攻	構成比	0.0%	16.3%	61.2%	22.4%	100.0%	3.06	
	[参考: 令和元年度調査] 構成比	0.0%	23.8%	71.4%	4.8%	100.0%	2.81	
	[参考: 平成30年度調査] 構成比	1.9%	22.2%	66.7%	9.3%	100.0%	2.83	
九州女子大学 合計	構成比	2.1%	20.2%	65.1%	12.6%	100.0%	2.88	
	[参考: 令和元年度調査] 構成比	4.6%	25.7%	63.3%	6.4%	100.0%	2.72	
	[参考: 平成30年度調査] 構成比	2.8%	23.4%	60.5%	13.3%	100.0%	2.84	
所属学科専攻	子ども健康学科	構成比	7.9%	33.7%	46.5%	11.9%	100.0%	2.62
		[参考: 令和元年度調査] 構成比	6.5%	32.7%	56.1%	4.7%	100.0%	2.59
		[参考: 平成30年度調査] 構成比	6.9%	43.7%	47.1%	2.3%	100.0%	2.45
	専攻科	構成比	7.1%	35.7%	57.1%	0.0%	100.0%	2.50
		[参考: 令和元年度調査] 構成比	0.0%	63.6%	31.8%	4.5%	100.0%	2.41
		[参考: 平成30年度調査] 構成比	12.5%	25.0%	37.5%	25.0%	100.0%	2.75
九州女子短期大学 合計	構成比	7.8%	33.9%	47.8%	10.4%	100.0%	2.61	
	[参考: 令和元年度調査] 構成比	5.4%	38.0%	51.9%	4.7%	100.0%	2.56	
	[参考: 平成30年度調査] 構成比	7.4%	42.1%	46.3%	4.2%	100.0%	2.47	

【調査分析結果】

講義に対する満足度を尋ねた結果、平均値が最も高かったのは人間基礎学専攻 (3.06) で、以下、人間生活学科 (2.97)、人間発達学専攻 (2.96)、栄養学科 (2.68)、子ども健康学科 (2.62) と続いており、令和元年度の調査結果から順位が変動した。また、過去2回の調査結果において、およそ7割以上の学生が講義に対する満足度が「やや高い」または「高い」と回答していた人間生活学科、人間発達学専攻、人間基礎学専攻では、今年度は8割以上の学生が「やや高い」または「高い」と回答している。

Q86-3 講義・カリキュラムに対する満足度 (R2年度より「カリキュラムに対する満足度」)

所属学科専攻 と Q86-3 講義・カリキュラムに対する満足度 (R2年度より「カリキュラムに対する満足度」) のクロス表

			Q86-3 講義・カリキュラムに対する満足度 (R2年度より「カリキュラムに対する満足度」)				合計	平均値
			1. 低い	2. やや低い	3. やや高い	4. 高い		
所属学科専攻	人間生活学科	構成比	0.0%	25.0%	66.7%	8.3%	100.0%	2.83
		[参考: 令和元年度調査] 構成比	0.0%	19.0%	76.2%	4.8%	100.0%	2.86
		[参考: 平成30年度調査] 構成比	4.8%	26.2%	57.1%	11.9%	100.0%	2.76
	栄養学科	構成比	7.1%	32.1%	50.0%	10.7%	100.0%	2.64
		[参考: 令和元年度調査] 構成比	14.9%	34.3%	49.3%	1.5%	100.0%	2.37
		[参考: 平成30年度調査] 構成比	5.3%	28.0%	61.3%	5.3%	100.0%	2.67
人間発達学専攻	構成比	0.0%	10.1%	69.6%	20.3%	100.0%	3.10	
	[参考: 令和元年度調査] 構成比	0.0%	21.6%	67.0%	11.4%	100.0%	2.90	
	[参考: 平成30年度調査] 構成比	.9%	20.0%	58.3%	20.9%	100.0%	2.99	
人間基礎学専攻	構成比	0.0%	14.3%	67.3%	18.4%	100.0%	3.04	
	[参考: 令和元年度調査] 構成比	0.0%	23.8%	71.4%	4.8%	100.0%	2.81	
	[参考: 平成30年度調査] 構成比	1.9%	22.2%	66.7%	9.3%	100.0%	2.83	
九州女子大学 合計	構成比	2.5%	21.0%	61.8%	14.7%	100.0%	2.89	
	[参考: 令和元年度調査] 構成比	4.6%	25.7%	63.3%	6.4%	100.0%	2.72	
	[参考: 平成30年度調査] 構成比	2.8%	23.4%	60.5%	13.3%	100.0%	2.84	
所属学科専攻	子ども健康学科	構成比	5.9%	26.7%	53.5%	13.9%	100.0%	2.75
		[参考: 令和元年度調査] 構成比	6.5%	32.7%	56.1%	4.7%	100.0%	2.59
		[参考: 平成30年度調査] 構成比	6.9%	43.7%	47.1%	2.3%	100.0%	2.45
	専攻科	構成比	0.0%	28.6%	71.4%	0.0%	100.0%	2.71
		[参考: 令和元年度調査] 構成比	0.0%	63.6%	31.8%	4.5%	100.0%	2.41
		[参考: 平成30年度調査] 構成比	12.5%	25.0%	37.5%	25.0%	100.0%	2.75
九州女子短期大学 合計	構成比	5.2%	27.0%	55.7%	12.2%	100.0%	2.75	
	[参考: 令和元年度調査] 構成比	5.4%	38.0%	51.9%	4.7%	100.0%	2.56	
	[参考: 平成30年度調査] 構成比	7.4%	42.1%	46.3%	4.2%	100.0%	2.47	

【調査分析結果】

カリキュラムに対する満足度を尋ねた結果、平均値が最も高かったのは人間発達学専攻 (3.10) で、以下、人間基礎学専攻 (3.04)、人間生活学科 (2.83)、子ども健康学科 (2.75) 専攻科 (2.71)、栄養学科 (2.64) と続いており、令和元年度の調査結果から順位が若干変化した。また、昨年度までの調査と同様に、人間生活学科、人間発達学専攻、人間基礎学専攻では、およそ7割以上の学生が、カリキュラムに対する満足度が「やや高い」または「高い」と回答しているほか、今年度は専攻科の学生も7割以上が「やや高い」または「高い」と回答している。

Q86-4 自己の成長と発達に対する満足度

所属学科専攻 と Q86-4 自己の成長と発達に対する満足度 のクロス表

			Q86-4 自己の成長と発達に対する満足度				合計	平均値
			1. 低い	2. やや低い	3. やや高い	4. 高い		
所属学科専攻	人間生活学科	構成比	0.0%	16.7%	63.9%	19.4%	100.0%	3.03
		[参考：令和元年度調査] 構成比	0.0%	23.8%	57.1%	19.0%	100.0%	2.95
		[参考：平成30年度調査] 構成比	2.4%	31.0%	52.4%	14.3%	100.0%	2.79
	栄養学科	構成比	3.6%	23.8%	57.1%	15.5%	100.0%	2.85
		[参考：令和元年度調査] 構成比	3.0%	24.2%	63.6%	9.1%	100.0%	2.79
		[参考：平成30年度調査] 構成比	4.0%	24.0%	64.0%	8.0%	100.0%	2.76
人間発達学専攻	構成比	4.3%	4.3%	69.6%	21.7%	100.0%	3.09	
	[参考：令和元年度調査] 構成比	0.0%	17.0%	61.4%	21.6%	100.0%	3.05	
	[参考：平成30年度調査] 構成比	.9%	12.2%	54.8%	32.2%	100.0%	3.18	
人間基礎学専攻	構成比	4.1%	18.4%	53.1%	24.5%	100.0%	2.98	
	[参考：令和元年度調査] 構成比	0.0%	28.6%	59.5%	11.9%	100.0%	2.83	
	[参考：平成30年度調査] 構成比	0.0%	24.1%	59.3%	16.7%	100.0%	2.93	
九州女子大学 合計	構成比	3.4%	16.0%	60.9%	19.7%	100.0%	2.97	
	[参考：令和元年度調査] 構成比	0.9%	22.1%	61.3%	15.7%	100.0%	2.92	
	[参考：平成30年度調査] 構成比	1.7%	20.3%	57.7%	20.3%	100.0%	2.97	
所属学科専攻	子ども健康学科	構成比	0.0%	21.8%	58.4%	19.8%	100.0%	2.98
		[参考：令和元年度調査] 構成比	3.7%	20.4%	67.6%	8.3%	100.0%	2.81
		[参考：平成30年度調査] 構成比	1.1%	33.3%	59.8%	5.7%	100.0%	2.70
	専攻科	構成比	0.0%	28.6%	42.9%	28.6%	100.0%	3.00
		[参考：令和元年度調査] 構成比	0.0%	27.3%	63.6%	9.1%	100.0%	2.82
		[参考：平成30年度調査] 構成比	12.5%	25.0%	25.0%	37.5%	100.0%	2.87
九州女子短期大学 合計	構成比	0.0%	22.6%	56.5%	20.9%	100.0%	2.98	
	[参考：令和元年度調査] 構成比	3.1%	21.5%	66.9%	8.5%	100.0%	2.81	
	[参考：平成30年度調査] 構成比	2.1%	32.6%	56.8%	8.4%	100.0%	2.72	

【調査分析結果】

自己の成長と発達に対する満足度について調査したところ、平均値は人間発達学専攻（3.09）、人間生活学科（3.03）、専攻科（3.00）、人間基礎学専攻および子ども健康学科（いずれも2.98）、栄養学科（2.85）の順で高かった。また、満足度が高いグループと低いグループに2分してみると、満足度が高いグループの割合は、人間発達学専攻（91.3%）、人間生活学科（83.3%）、子ども健康学科（78.2%）、人間基礎学専攻（77.6%）、栄養学科（72.6%）、専攻科（71.5%）の順であった。令和元年度の調査結果と比較すると、すべての学科専攻において満足度が高いグループの割合が増加し、いずれの学科専攻においても、7割以上の卒業生が自己の成長と発達に対して満足していることが示された。

Q86-5 教員との関係に対する満足度

所属学科専攻 と Q86-5 教員との関係に対する満足度 のクロス表

			Q86-5 教員との関係に対する満足度				合計	平均値
			1. 低い	2. やや低い	3. やや高い	4. 高い		
所属学科専攻	人間生活学科	構成比	0.0%	5.6%	75.0%	19.4%	100.0%	3.14
		[参考：令和元年度調査] 構成比	0.0%	19.0%	52.4%	28.6%	100.0%	3.10
		[参考：平成30年度調査] 構成比	9.5%	33.3%	50.0%	7.1%	100.0%	2.55
	栄養学科	構成比	2.4%	21.4%	66.7%	9.5%	100.0%	2.83
		[参考：令和元年度調査] 構成比	12.1%	36.4%	47.0%	4.5%	100.0%	2.44
		[参考：平成30年度調査] 構成比	2.7%	32.0%	52.0%	13.3%	100.0%	2.76
人間発達学専攻	構成比	0.0%	7.2%	68.1%	24.6%	100.0%	3.17	
	[参考：令和元年度調査] 構成比	1.1%	15.9%	52.3%	30.7%	100.0%	3.12	
	[参考：平成30年度調査] 構成比	1.7%	13.0%	49.6%	35.7%	100.0%	3.19	
人間基礎学専攻	構成比	0.0%	10.2%	61.2%	28.6%	100.0%	3.18	
	[参考：令和元年度調査] 構成比	0.0%	14.3%	78.6%	7.1%	100.0%	2.93	
	[参考：平成30年度調査] 構成比	3.7%	20.4%	51.9%	24.1%	100.0%	2.96	
九州女子大学 合計	構成比	0.8%	12.6%	67.2%	19.3%	100.0%	3.05	
	[参考：令和元年度調査] 構成比	4.1%	22.1%	55.8%	18.0%	100.0%	2.88	
	[参考：平成30年度調査] 構成比	3.5%	22.4%	50.7%	23.4%	100.0%	2.94	
所属学科専攻	子ども健康学科	構成比	4.0%	12.9%	63.4%	19.8%	100.0%	2.99
		[参考：令和元年度調査] 構成比	3.7%	18.5%	64.8%	13.0%	100.0%	2.87
		[参考：平成30年度調査] 構成比	3.4%	39.1%	52.9%	4.6%	100.0%	2.59
	専攻科	構成比	7.1%	21.4%	71.4%	0.0%	100.0%	2.64
		[参考：令和元年度調査] 構成比	4.5%	31.8%	63.6%	0.0%	100.0%	2.59
		[参考：平成30年度調査] 構成比	12.5%	50.0%	12.5%	25.0%	100.0%	2.50
九州女子短期大学 合計	構成比	4.3%	13.9%	64.3%	17.4%	100.0%	2.95	
	[参考：令和元年度調査] 構成比	3.8%	20.8%	64.6%	10.8%	100.0%	2.82	
	[参考：平成30年度調査] 構成比	4.2%	40.0%	49.5%	6.3%	100.0%	2.58	

【調査分析結果】

教員との関係に対する満足度を尋ねたところ、平均値が最も高かったのは人間基礎学専攻（3.18）で、以下、人間発達学専攻（3.17）、人間生活学科（3.14）、子ども健康学科（2.99）、栄養学科（2.83）、専攻科（2.64）と続いており、全ての学科専攻において、令和元年度の調査結果から平均値が上昇した。また、満足度の高いグループと低いグループに2分してみると、いずれの学科専攻においても、7割以上の卒業生が教員との関係に対して満足していることが示された。今年度の調査では、特に人間生活学科と人間発達学専攻では満足度が高く、前者は94.4%、後者は92.7%の卒業生が「やや高い」または「高い」と回答していた。

Q86-6 職員との関係に対する満足度

所属学科専攻 と Q86-6 職員との関係に対する満足度 のクロス表

			Q86-6 職員との関係に対する満足度				合計	平均値
			1. 低い	2. やや低い	3. やや高い	4. 高い		
所属学科専攻	人間生活学科	構成比	2.8%	11.1%	72.2%	13.9%	100.0%	2.97
		[参考: 令和元年度調査] 構成比	9.5%	19.0%	57.1%	14.3%	100.0%	2.76
		[参考: 平成30年度調査] 構成比	9.5%	38.1%	45.2%	7.1%	100.0%	2.50
	栄養学科	構成比	2.4%	22.6%	64.3%	10.7%	100.0%	2.83
		[参考: 令和元年度調査] 構成比	18.2%	40.9%	37.9%	3.0%	100.0%	2.26
		[参考: 平成30年度調査] 構成比	9.3%	40.0%	44.0%	6.7%	100.0%	2.48
	人間発達学専攻	構成比	5.8%	7.2%	68.1%	18.8%	100.0%	3.00
		[参考: 令和元年度調査] 構成比	5.7%	26.1%	53.4%	14.8%	100.0%	2.77
		[参考: 平成30年度調査] 構成比	10.4%	27.8%	44.3%	17.4%	100.0%	2.69
	人間基礎学専攻	構成比	0.0%	26.5%	55.1%	18.4%	100.0%	2.92
		[参考: 令和元年度調査] 構成比	0.0%	33.3%	61.9%	4.8%	100.0%	2.71
		[参考: 平成30年度調査] 構成比	3.7%	31.5%	46.3%	18.5%	100.0%	2.80
九州女子大学 合計	構成比	2.9%	17.2%	64.7%	15.1%	100.0%	2.92	
	[参考: 令和元年度調査] 構成比	8.8%	31.3%	50.7%	9.2%	100.0%	2.60	
	[参考: 平成30年度調査] 構成比	8.7%	33.2%	44.8%	13.3%	100.0%	2.63	
所属学科専攻	子ども健康学科	構成比	2.0%	15.8%	62.4%	19.8%	100.0%	3.00
		[参考: 令和元年度調査] 構成比	4.6%	27.8%	57.4%	10.2%	100.0%	2.73
		[参考: 平成30年度調査] 構成比	8.0%	39.1%	48.3%	4.6%	100.0%	2.49
	専攻科	構成比	7.1%	21.4%	64.3%	7.1%	100.0%	2.71
		[参考: 令和元年度調査] 構成比	4.5%	45.5%	45.5%	4.5%	100.0%	2.50
		[参考: 平成30年度調査] 構成比	12.5%	62.5%	0.0%	25.0%	100.0%	2.38
九州女子短期大学 合計	構成比	2.6%	16.5%	62.6%	18.3%	100.0%	2.97	
	[参考: 令和元年度調査] 構成比	4.6%	30.8%	55.4%	9.2%	100.0%	2.69	
	[参考: 平成30年度調査] 構成比	8.4%	41.1%	44.2%	6.3%	100.0%	2.48	

【調査分析結果】

職員との関係に対する満足度を調査したところ、平均値は人間発達学専攻および子ども健康学科（いずれも3.00）、人間生活学科（2.97）、人間基礎学専攻（2.92）、栄養学科（2.83）、専攻科（2.71）の順で高かった。また、満足度の高いグループと低いグループに2分してみると、すべての学科専攻において、7割以上の卒業生が職員との関係に対して満足していることが示された。

Q86-7 友人との関係に対する満足度

所属学科専攻 と Q86-7 友人との関係に対する満足度 のクロス表

			Q86-7 友人との関係に対する満足度				合計	平均値
			1. 低い	2. やや低い	3. やや高い	4. 高い		
所属学科専攻	人間生活学科	構成比	0.0%	13.9%	47.2%	38.9%	100.0%	3.25
		[参考: 令和元年度調査] 構成比	0.0%	9.5%	52.4%	38.1%	100.0%	3.29
		[参考: 平成30年度調査] 構成比	0.0%	9.5%	64.3%	26.2%	100.0%	3.17
	栄養学科	構成比	3.6%	10.7%	46.4%	39.3%	100.0%	3.21
		[参考: 令和元年度調査] 構成比	3.0%	7.5%	47.8%	41.8%	100.0%	3.40
		[参考: 平成30年度調査] 構成比	0.0%	6.7%	50.7%	42.7%	100.0%	3.36
	人間発達学専攻	構成比	2.9%	1.4%	44.9%	50.7%	100.0%	3.43
		[参考: 令和元年度調査] 構成比	1.1%	5.7%	40.9%	52.3%	100.0%	3.44
		[参考: 平成30年度調査] 構成比	0.0%	3.5%	32.5%	64.0%	100.0%	3.61
	人間基礎学専攻	構成比	0.0%	6.1%	38.8%	55.1%	100.0%	3.49
		[参考: 令和元年度調査] 構成比	0.0%	9.5%	54.8%	35.7%	100.0%	3.26
		[参考: 平成30年度調査] 構成比	0.0%	3.7%	44.4%	51.9%	100.0%	3.48
九州女子大学 合計	構成比	2.1%	7.6%	44.5%	45.8%	100.0%	3.34	
	[参考: 令和元年度調査] 構成比	1.4%	5.5%	46.8%	46.3%	100.0%	3.38	
	[参考: 平成30年度調査] 構成比	0.0%	5.3%	44.2%	50.5%	100.0%	3.45	
所属学科専攻	子ども健康学科	構成比	0.0%	3.0%	41.6%	55.4%	100.0%	3.52
		[参考: 令和元年度調査] 構成比	2.8%	6.5%	44.9%	45.8%	100.0%	3.34
		[参考: 平成30年度調査] 構成比	0.0%	11.5%	48.3%	40.2%	100.0%	3.29
	専攻科	構成比	0.0%	7.1%	42.9%	50.0%	100.0%	3.43
		[参考: 令和元年度調査] 構成比	0.0%	9.1%	31.8%	59.1%	100.0%	3.50
		[参考: 平成30年度調査] 構成比	0.0%	0.0%	37.5%	62.5%	100.0%	3.63
九州女子短期大学 合計	構成比	0.0%	3.5%	41.7%	54.8%	100.0%	3.51	
	[参考: 令和元年度調査] 構成比	2.3%	7.0%	42.6%	48.1%	100.0%	3.36	
	[参考: 平成30年度調査] 構成比	0.0%	10.5%	47.4%	42.1%	100.0%	3.32	

【調査分析結果】

友人との関係に対する満足度を尋ねたところ、平均値が最も高かったのは子ども健康学科（3.52）であり、以下、人間基礎学専攻（3.49）、人間発達学専攻および専攻科（いずれも3.43）、人間生活学科（3.25）、栄養学科（3.21）と続いた。また、友人との満足度の高いグループと低いグループに2分してみると、令和元年度の調査結果とくらべて、満足度の高いグループの割合が若干減少している学科専攻もあるものの、すべての学科専攻において、8割以上の卒業生が友人との関係に対する満足度は「やや高い」または「高い」と回答していた。

## Q86-8 家族との関係に対する満足度

所属学科専攻 と Q86-8 家族との関係に対する満足度 のクロス表

			Q86-8 家族との関係に対する満足度				合計	平均値
			1. 低い	2. やや低い	3. やや高い	4. 高い		
所属学科専攻	人間生活学科	構成比	2.8%	5.6%	52.8%	38.9%	100.0%	3.28
		[参考：令和元年度調査] 構成比	4.8%	0.0%	57.1%	38.1%	100.0%	3.29
		[参考：平成30年度調査] 構成比	0.0%	19.0%	47.6%	33.3%	100.0%	3.14
栄養学科	構成比	構成比	2.4%	4.8%	46.4%	46.4%	100.0%	3.37
		[参考：令和元年度調査] 構成比	0.0%	4.5%	44.8%	50.7%	100.0%	3.46
		[参考：平成30年度調査] 構成比	0.0%	9.3%	49.3%	41.3%	100.0%	3.32
人間発達学専攻	構成比	構成比	0.0%	5.8%	37.7%	56.5%	100.0%	3.51
		[参考：令和元年度調査] 構成比	3.4%	6.8%	37.5%	52.3%	100.0%	3.39
		[参考：平成30年度調査] 構成比	0.0%	2.6%	34.8%	62.6%	100.0%	3.60
人間基礎学専攻	構成比	構成比	0.0%	10.2%	36.7%	53.1%	100.0%	3.43
		[参考：令和元年度調査] 構成比	4.8%	7.1%	50.0%	38.1%	100.0%	3.21
		[参考：平成30年度調査] 構成比	0.0%	9.3%	40.7%	50.0%	100.0%	3.41
九州女子大学 合計	構成比	構成比	1.3%	6.3%	42.9%	49.6%	100.0%	3.41
		[参考：令和元年度調査] 構成比	2.8%	5.5%	44.0%	47.7%	100.0%	3.37
		[参考：平成30年度調査] 構成比	0.0%	8.0%	41.6%	50.3%	100.0%	3.42
所属学科専攻	子ども健康学科	構成比	2.0%	4.0%	36.6%	57.4%	100.0%	3.50
		[参考：令和元年度調査] 構成比	1.9%	3.7%	38.9%	55.6%	100.0%	3.48
		[参考：平成30年度調査] 構成比	2.3%	9.2%	46.0%	42.5%	100.0%	3.29
専攻科	構成比	構成比	0.0%	14.3%	28.6%	57.1%	100.0%	3.43
		[参考：令和元年度調査] 構成比	0.0%	13.6%	50.0%	36.4%	100.0%	3.23
		[参考：平成30年度調査] 構成比	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	100.0%	3.50
九州女子短期大学 合計	構成比	構成比	1.7%	5.2%	35.7%	57.4%	100.0%	3.49
		[参考：令和元年度調査] 構成比	1.5%	5.4%	40.8%	52.3%	100.0%	3.44
		[参考：平成30年度調査] 構成比	2.1%	8.4%	46.3%	43.2%	100.0%	3.31

## 【調査分析結果】

家族との関係に対する満足度を調べた結果、平均値は人間発達学専攻（3.51）、子ども健康学科（3.50）、人間基礎学専攻および専攻科（いずれも3.43）、栄養学科（3.37）、人間生活学科（3.28）の順であった。これまでの調査同様に、家族との関係に対する満足度は非常に高いことがわかった。また、満足度の高いグループと低いグループに2分してみると、すべての学科専攻において、家族との関係に対する満足度が高い卒業生はおよそ85%以上であることが示された。

令和2年度

Q.87 大学教育に関する要望(3つまで選択可)

	九州女子大学								九州女子短期大学			
	人間生活学科		栄養学科		人間発達学専攻		人間基礎学専攻		子ども健康学科		専攻科	
1 専門教育の充実 [参考:令和元年度調査] [参考:平成30年度調査]	18	26.9%	37	25.0%	28	20.1%	23	20.9%	52	24.1%	7	25.9%
	8	23.5%	14	11.3%	27	17.1%	13	18.1%	30	16.1%	9	25.0%
	6	9.5%	26	19.3%	45	21.2%	17	16.8%	29	20.0%	3	33.0%
2 教養教育・人間教育の充実 [参考:令和元年度調査] [参考:平成30年度調査]	6	9.0%	9	6.1%	17	12.2%	9	8.2%	18	8.3%	4	14.8%
	0	0.0%	4	3.2%	14	8.9%	3	4.2%	4	2.2%	4	11.1%
	10	15.9%	11	8.1%	22	10.4%	6	5.9%	7	4.8%	0	0.0%
3 少人数教育の実施、充実 [参考:令和元年度調査] [参考:平成30年度調査]	4	6.0%	2	1.4%	10	7.2%	8	7.3%	7	3.2%	1	3.7%
	2	5.9%	0	0.0%	10	6.3%	3	4.2%	13	7.0%	0	0.0%
	6	9.5%	3	2.2%	14	6.6%	6	5.9%	9	6.2%	0	0.0%
4 教員の資質向上・充実 [参考:令和元年度調査] [参考:平成30年度調査]	6	9.0%	30	20.3%	12	8.6%	6	5.5%	31	14.4%	3	11.1%
	3	8.8%	38	30.6%	12	7.6%	4	5.6%	26	14.0%	13	36.1%
	8	12.7%	27	20.0%	18	8.5%	5	5.0%	21	14.5%	2	22.2%
5 キャンパスの施設・設備の充実 [参考:令和元年度調査] [参考:平成30年度調査]	7	10.4%	11	7.4%	24	17.3%	19	17.3%	21	9.7%	1	3.7%
	7	20.6%	13	10.5%	44	27.8%	13	18.1%	30	16.1%	1	2.8%
	8	12.7%	19	14.1%	38	17.9%	22	21.8%	17	11.7%	0	0.0%
6 情報処理教育の充実 [参考:令和元年度調査] [参考:平成30年度調査]	5	7.5%	9	6.1%	3	2.2%	7	6.4%	7	3.2%	2	7.4%
	2	5.9%	0	0.0%	7	4.4%	6	8.3%	7	3.8%	3	8.3%
	2	3.2%	2	1.5%	4	1.9%	7	6.9%	5	3.4%	1	11.1%
7 各種資格取得に必要な教育の充実 [参考:令和元年度調査] [参考:平成30年度調査]	5	7.5%	13	8.8%	9	6.5%	12	10.9%	24	11.1%	2	7.4%
	2	5.9%	12	9.7%	12	7.6%	12	16.7%	19	10.2%	2	5.6%
	5	7.9%	12	8.9%	15	7.1%	16	15.8%	10	6.9%	0	0.0%
8 就職に必要な教育、指導、支援の充実 [参考:令和元年度調査] [参考:平成30年度調査]	7	10.4%	23	15.5%	22	15.8%	12	10.9%	35	16.2%	5	18.5%
	7	20.6%	29	23.4%	21	13.3%	11	15.3%	34	18.3%	3	8.3%
	8	12.7%	19	14.1%	31	14.6%	13	12.9%	25	17.2%	3	33.3%
9 国際交流の拡大と海外研修等の充実 [参考:令和元年度調査] [参考:平成30年度調査]	5	7.5%	6	4.1%	8	5.8%	5	4.5%	3	1.4%	1	3.7%
	1	2.9%	6	4.8%	5	3.2%	4	5.6%	16	8.6%	0	0.0%
	5	7.9%	8	5.9%	6	2.6%	5	5.0%	5	3.4%	0	0.0%
10 オフィスアワーや教員と交流できる時間の拡大 [参考:令和元年度調査] [参考:平成30年度調査]	2	3.0%	1	0.7%	3	2.2%	5	4.5%	5	2.3%	1	3.7%
	1	2.9%	2	1.6%	2	1.3%	1	1.4%	1	0.5%	0	0.0%
	2	3.2%	4	3.0%	7	3.3%	3	3.0%	3	2.1%	0	0.0%
11 その他 [参考:令和元年度調査] [参考:平成30年度調査]	2	3.0%	7	4.7%	3	2.2%	4	3.6%	13	6.0%	0	0.0%
	1	2.9%	6	4.8%	4	2.5%	2	2.8%	6	3.2%	1	2.8%
	3	4.8%	4	3.0%	12	5.7%	1	1.0%	14	9.7%	0	0.0%
合計	67	100%	148	100%	139	100%	110	100%	216	100%	27	100%
	34	100.0%	124	100.0%	158	100.0%	72	100.0%	186	100.0%	36	100.0%
	63	100.0%	135	100.0%	212	100.0%	101	100.0%	145	100.0%	9	100.0%

【調査分析結果】

卒業した学科専攻ごとに最も多かった要望について、令和元年度の調査結果においては、人間生活学科が「専門教育の充実」(学科専攻ごとの要望総数のうち23.5%)、栄養学科が「教員の資質向上・充実」(同30.6%)、人間発達学専攻が「キャンパスの施設・設備の充実」(同27.8%)、人間基礎学専攻が「専門教育の充実」および「キャンパスの施設・設備の充実」(同18.1%)、子ども健康学科が「就職に必要な教育、指導、支援の充実」(同18.3%)、専攻科が「教員の資質向上・充実」(同36.1%)であり、教育内容や施設・設備の改善に向けた複数の方向性が示されていたが、今年度の調査結果においては、すべての学科専攻において「専門教育の充実」が最も多く、学科専攻ごとの要望総数のうち、人間生活学科においては26.9%、栄養学科においては25.0%、人間発達学専攻においては20.1%、人間基礎学専攻においては20.9%、子ども健康学科においては24.1%、専攻科においては25.9%が「専門教育の充実」を要望しており、全卒業生のうち4人ないし5人に1人が専門教育の更なる充実を求めていることが示された。